

株式会社 トリケミカル研究所
第44期(2022年1月期)
決算説明資料

東京証券取引所
証券コード:4369

1. 2022年1月期業績

単位：百万円

	(ご参考) 21.1期	22.1期	増減額	増減率
売上高	9,801	11,574	1,772	18.1%
営業利益	2,691	2,976	284	10.6%
経常利益	4,323	5,294	971	22.5%
当期純利益	3,377	4,095	717	21.3%

売上は8期連続で過去最高を更新
(各利益は7期連続で過去最高)
経常利益に持分法投資利益1,936百万円

単位:百万円

	22.1期末	(ご参考) 21.1期末	増減額
流動資産	14,386	7,584	6,801
固定資産	13,902	12,283	1,619
資産合計	28,288	19,867	8,421
流動負債	3,465	3,290	174
固定負債	3,503	3,975	-472
負債合計	6,968	7,266	-297
株主資本	21,083	12,579	8,503
その他包括利益累計額	236	21	215
純資産合計	21,320	12,601	8,719
負債純資産合計	28,288	19,867	8,421

主な増減要因

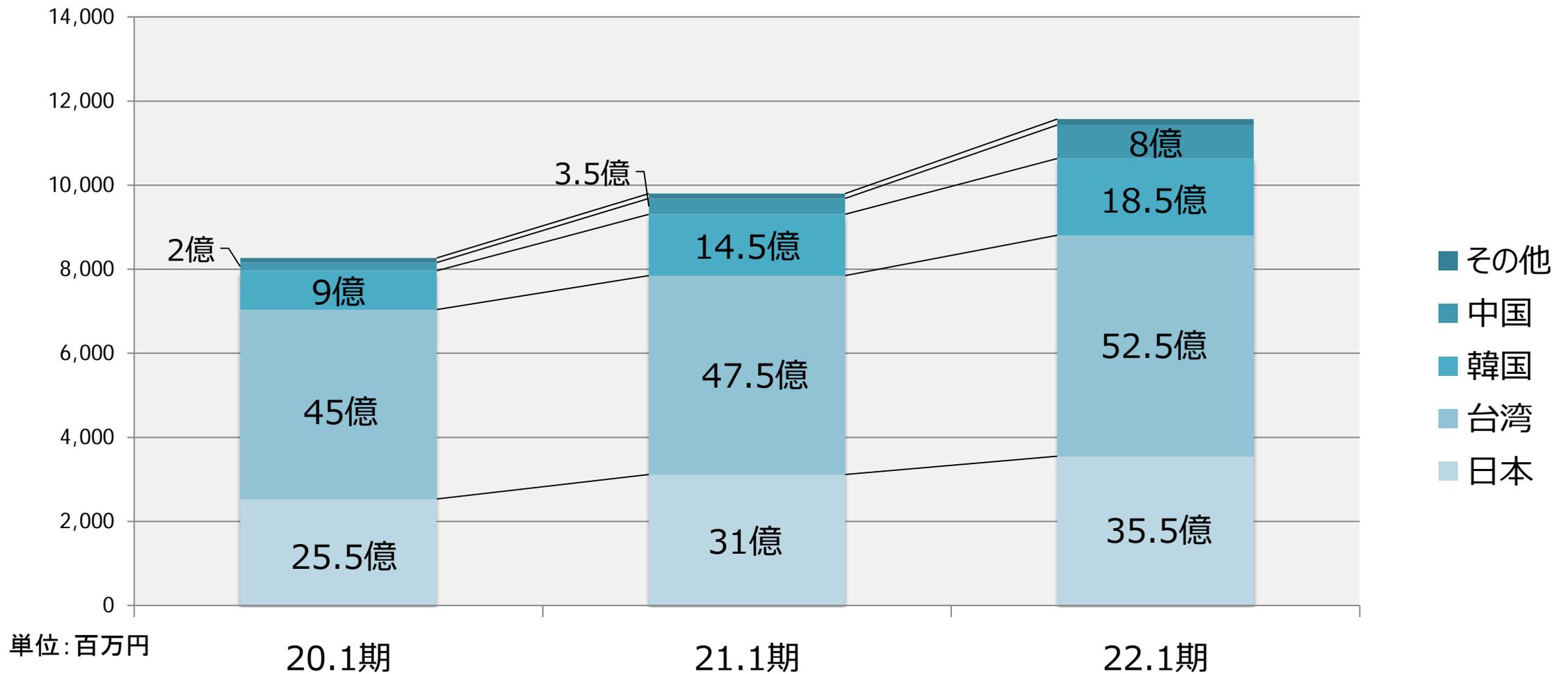
流動資産	現金及び預金の増加	+6,335
	たな卸資産の増加	+541
固定資産	持分法利益取り込みに伴う投資有価証券増加	+1,388
	設備投資に伴う有形固定資産の増加	+134
流動負債	1年内返済予定長期借入金増加	+345
	未払法人税等の増加	+207
	買掛金の増加	+87
	短期借入金の減少	-580
固定負債	長期借入金の減少	-461
純資産	増資に伴う資本金・資本剰余金増加	+4,940
	純利益計上による利益剰余金の増加	+3,563

単位:百万円

	22.1期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	-932
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,594
現金及び現金同等物の増減額	6,335
現金及び現金同等物の期末残高	8,034

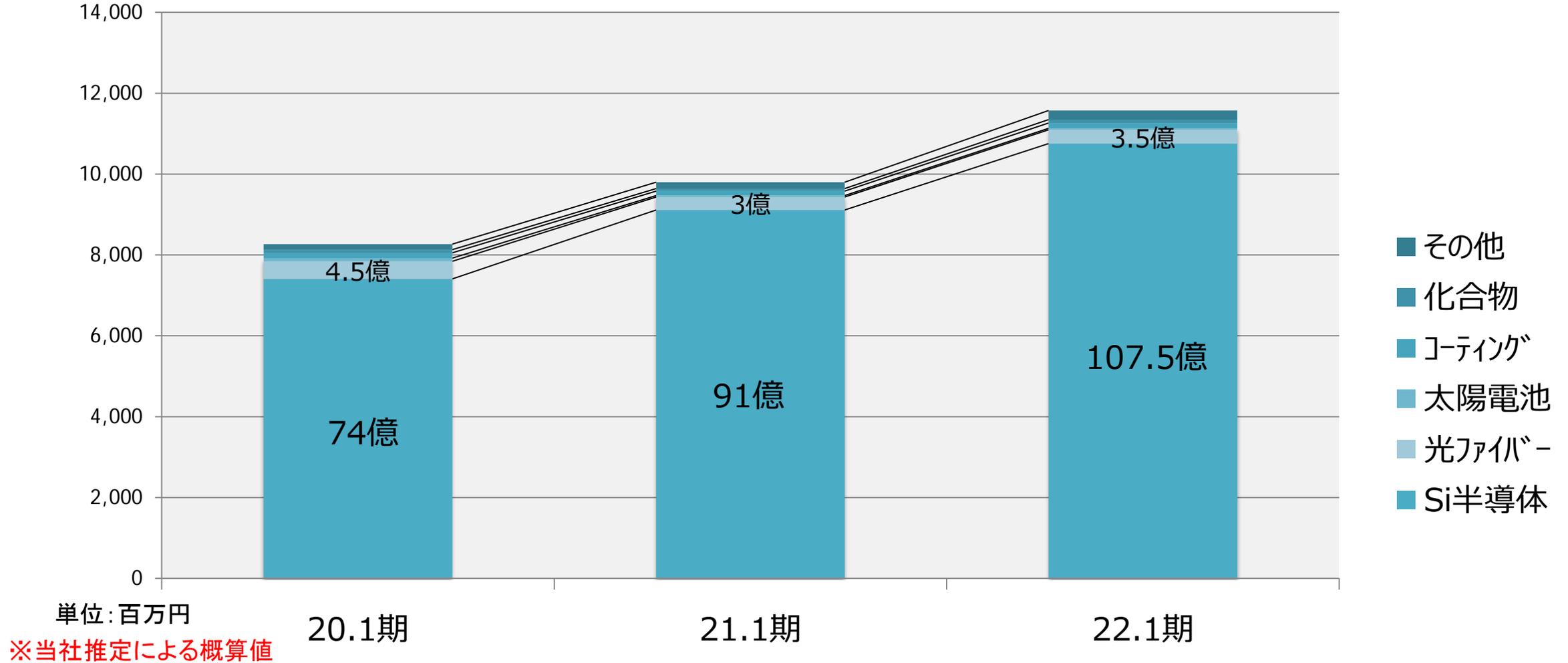
CFの状況

営業CF	税前当期利益計上	+5,294
	減価償却費計上	+1,019
	持分法による投資損益	-1,936
	法人税等の支払額	-1,041
投資CF	有形固定資産の取得	-881
	無形固定資産の取得	-50
財務CF	増資による調達額	+4,909
	借入金の調達・返済	-695
	配当金の支払額	-531



※当社推定による概算値

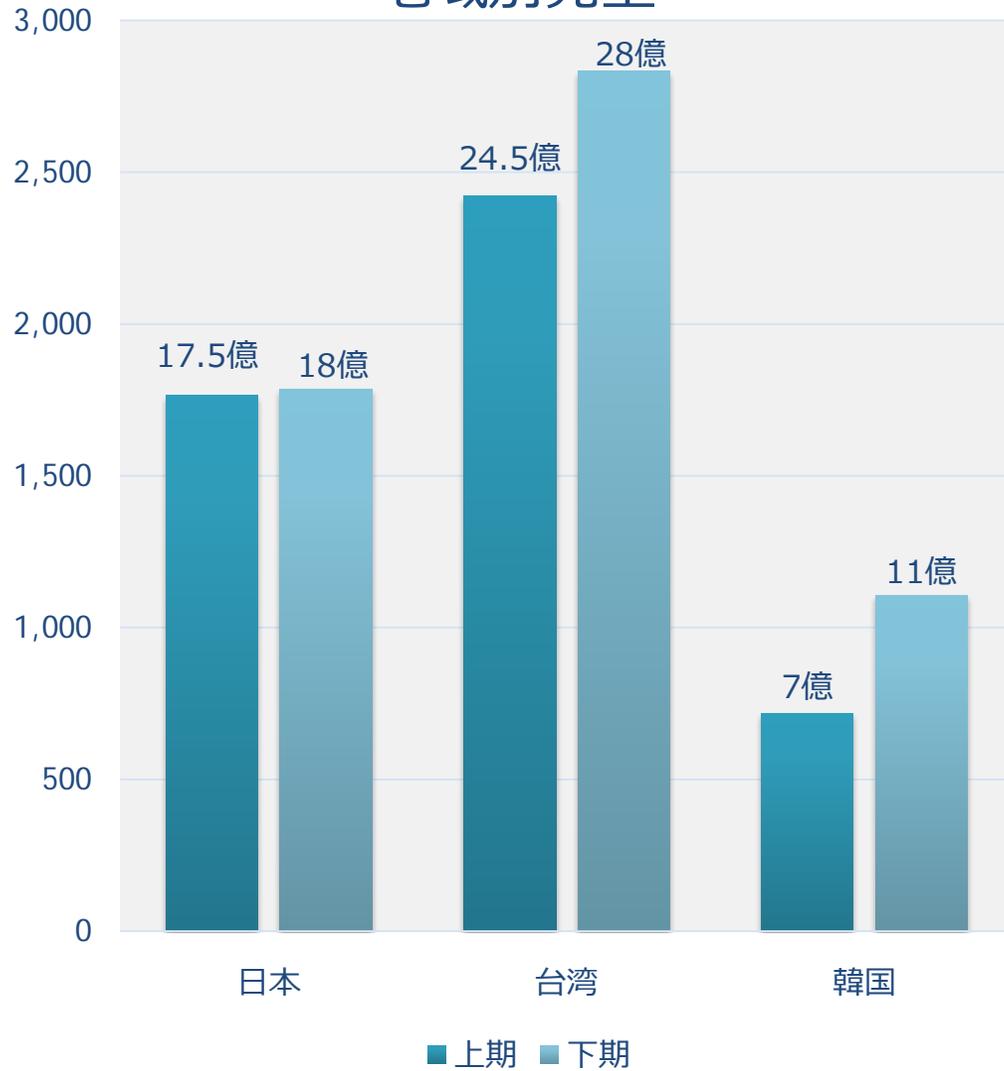
全ての地域において高成長を継続



半導体向け売上は順調に推移

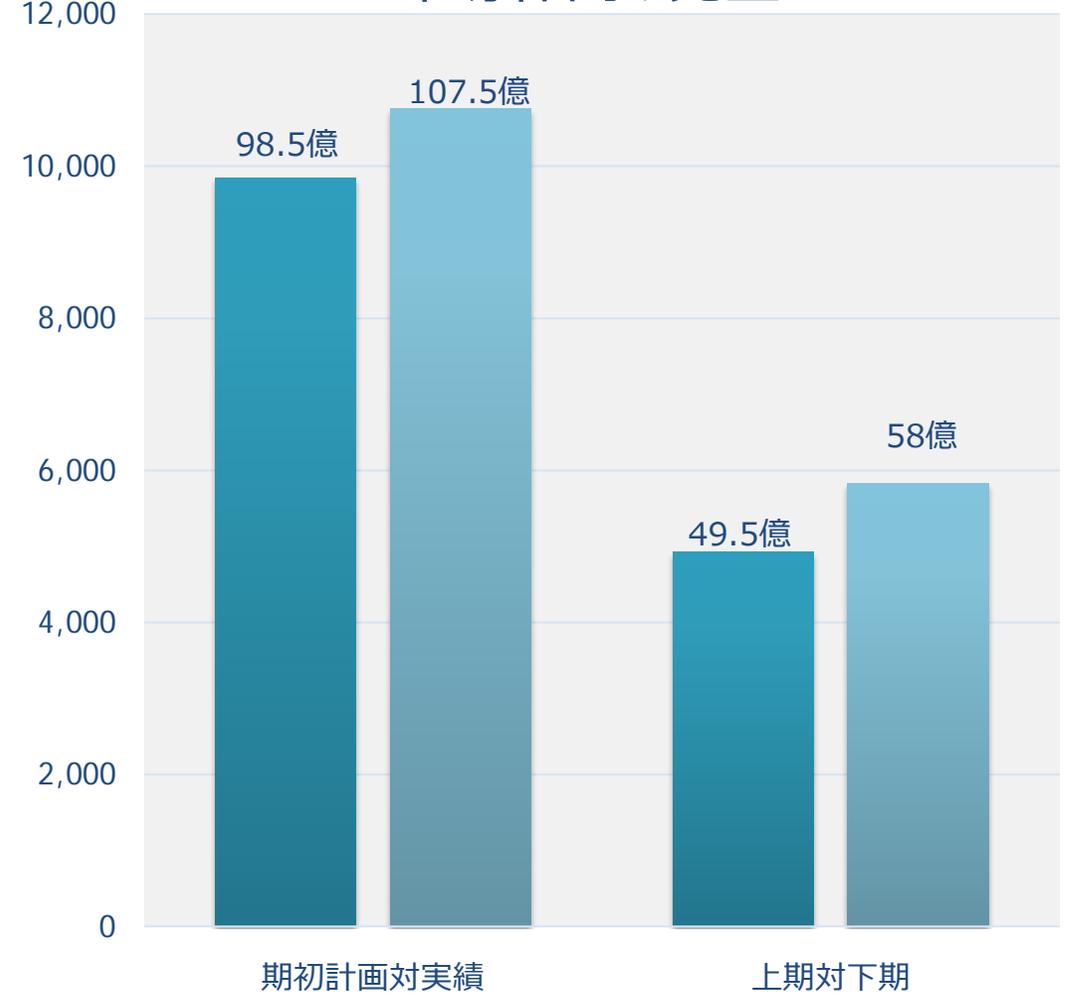
単位:百万円

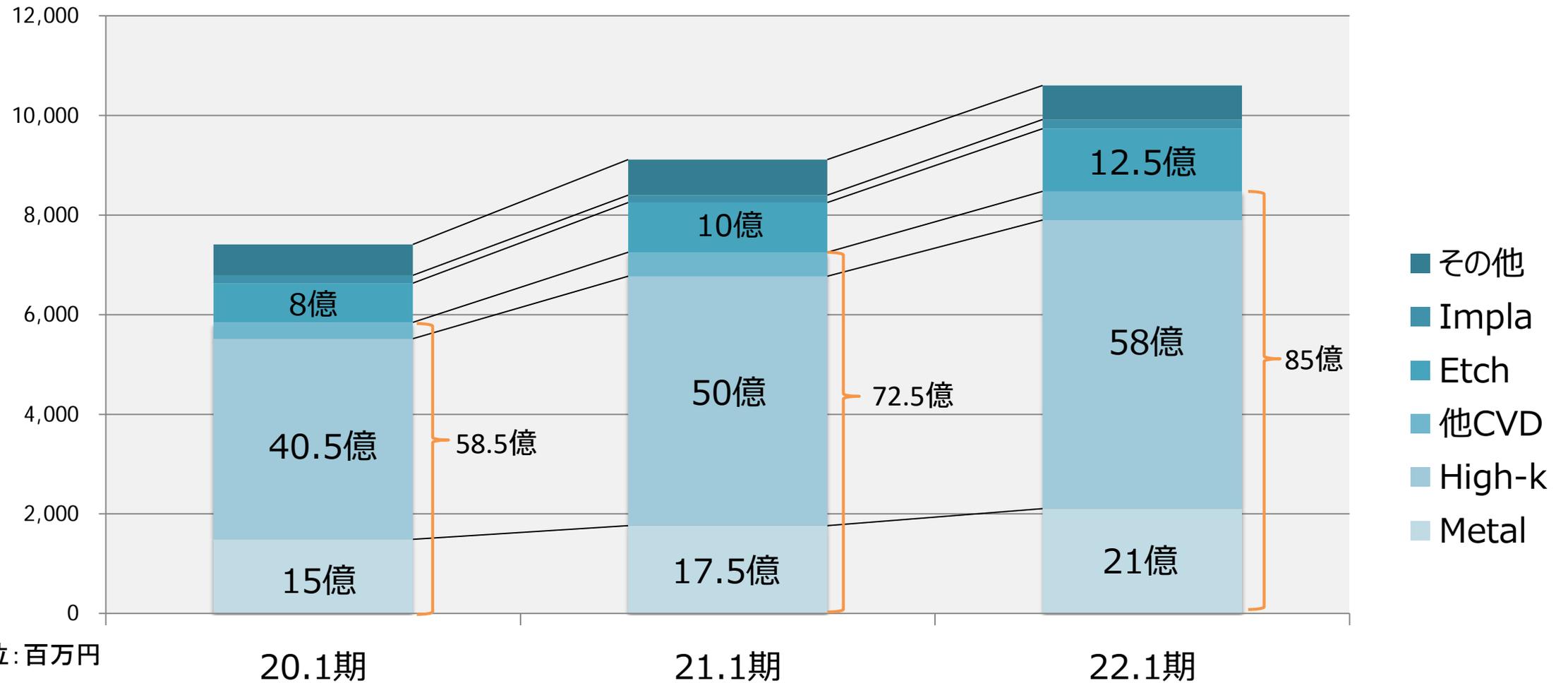
地域別売上



単位:百万円

Si半導体向け売上

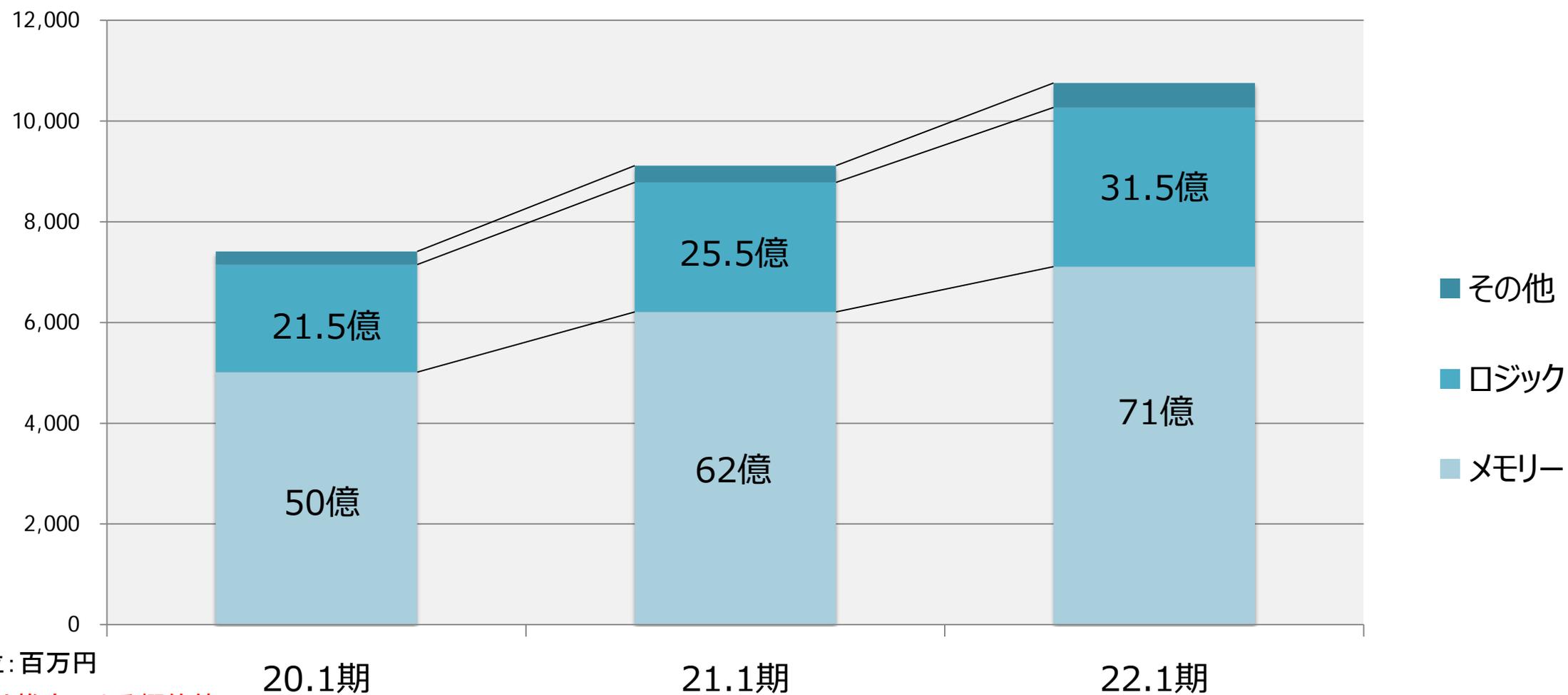




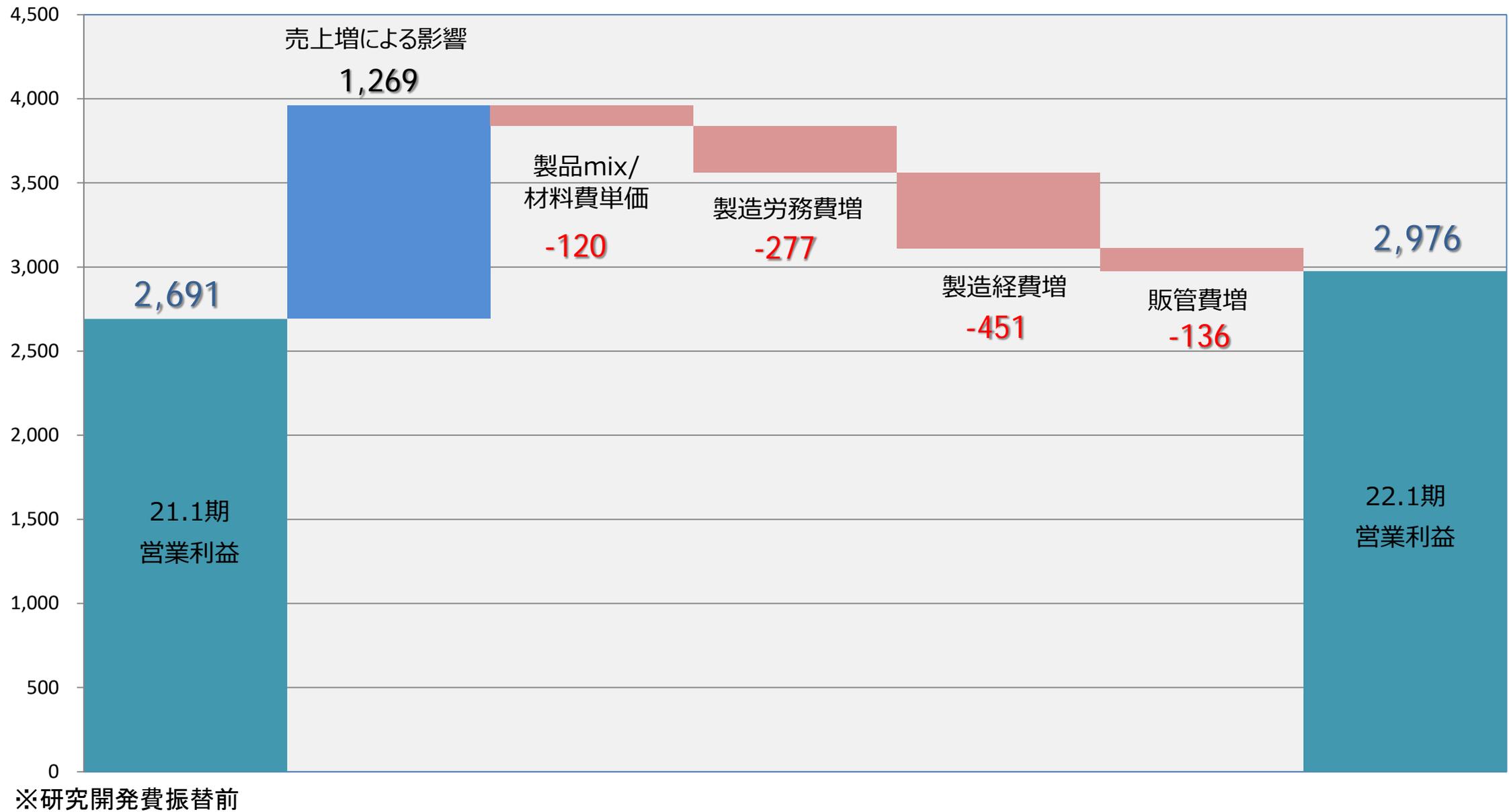
単位:百万円

※当社推定による概算値

主力製品は概ね15~20%の成長



メモリーは世代交代・ロジックは数量増が成長の主因



2. 2023年1月期業績計画

単位：百万円

	22.1期実績	23.1期計画	(ご参考) 増減率
売上高	11,574	13,600	17.5%
営業利益	2,976	3,400	14.2%
経常利益	5,294	5,730	8.2%
当期純利益	4,095	4,500	9.9%

為替は110円/米ドルに設定 (23.1期営業利益感応度は1円≒3,000万円)

売上・利益ともに成長を継続

外部環境

先端半導体の稼働は以下の通りと仮定

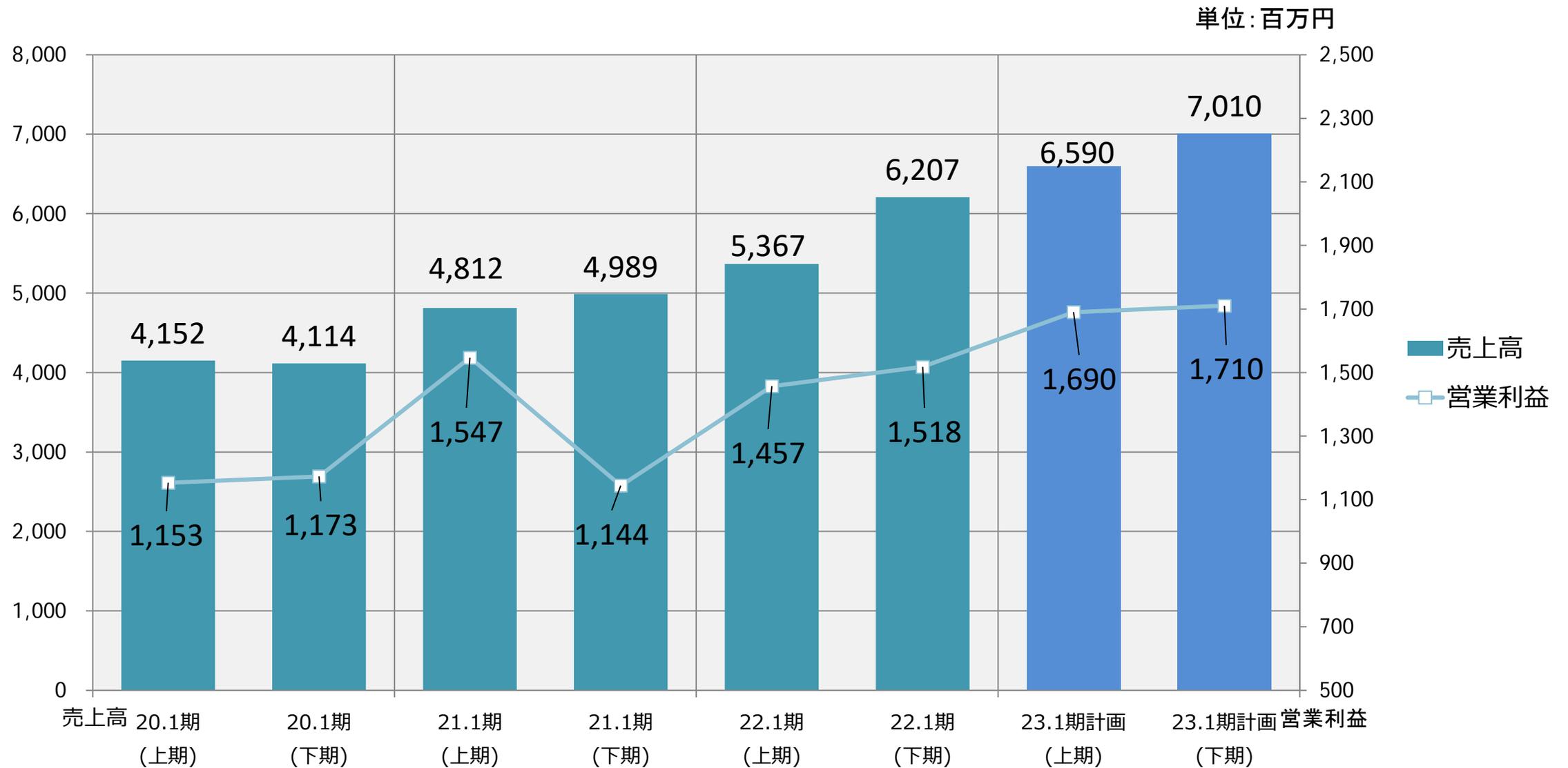
メモリー：高い稼働を維持

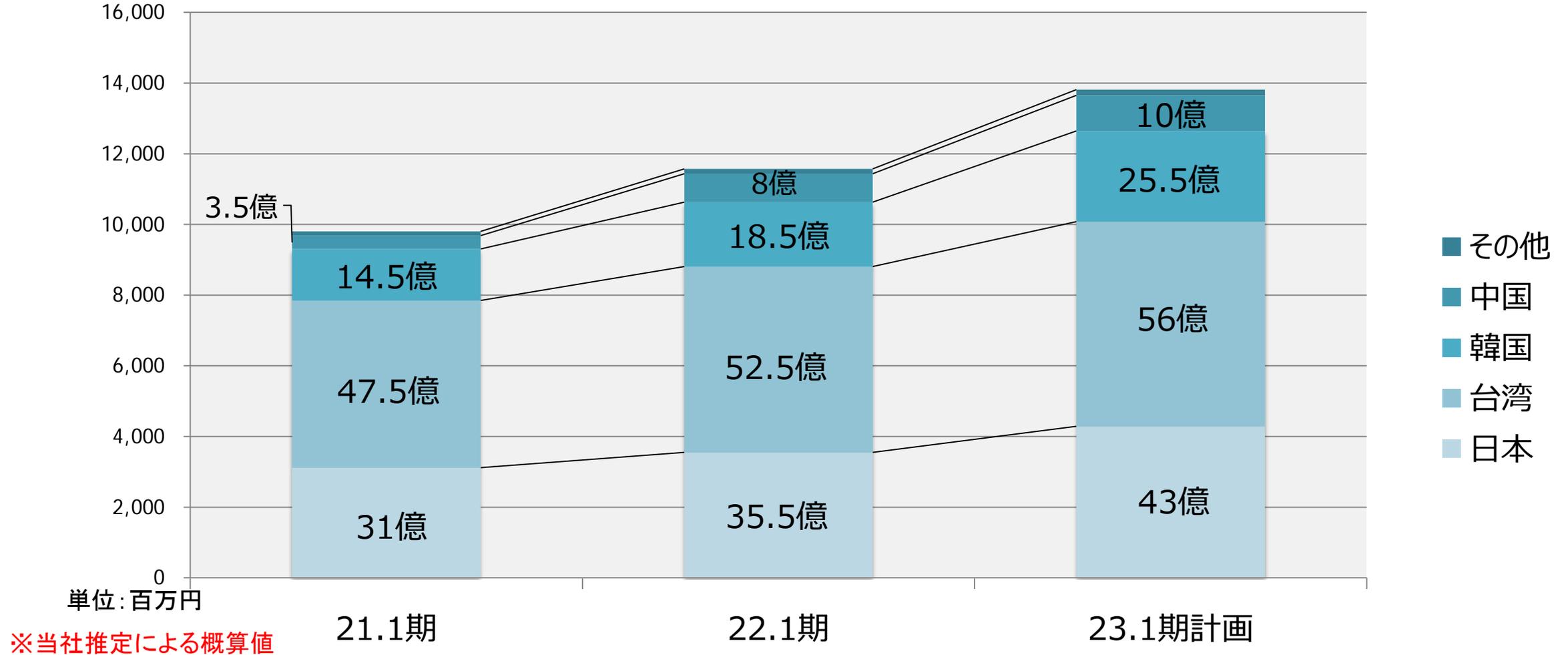
ロジック：ユーザーの設備投資分が徐々に立ち上がる

※ウクライナ情勢の影響については織り込んでいない

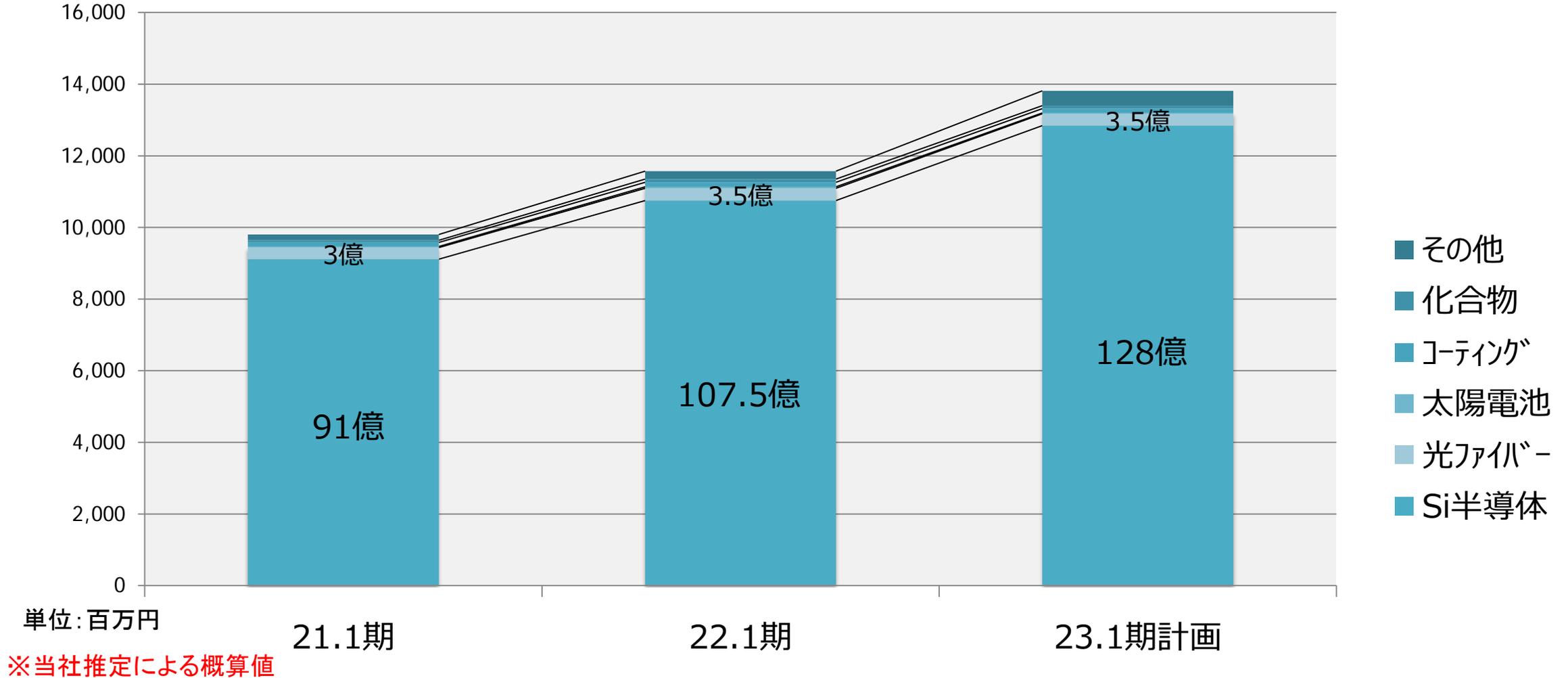
今期の取り組み

- ・生産の効率化、安全・品質管理の強化
- ・半導体・製造装置メーカー等と連携した次世代半導体向け材料の開発及び量産体制の構築
- ・台湾子会社の早期事業化に向けた活動の継続

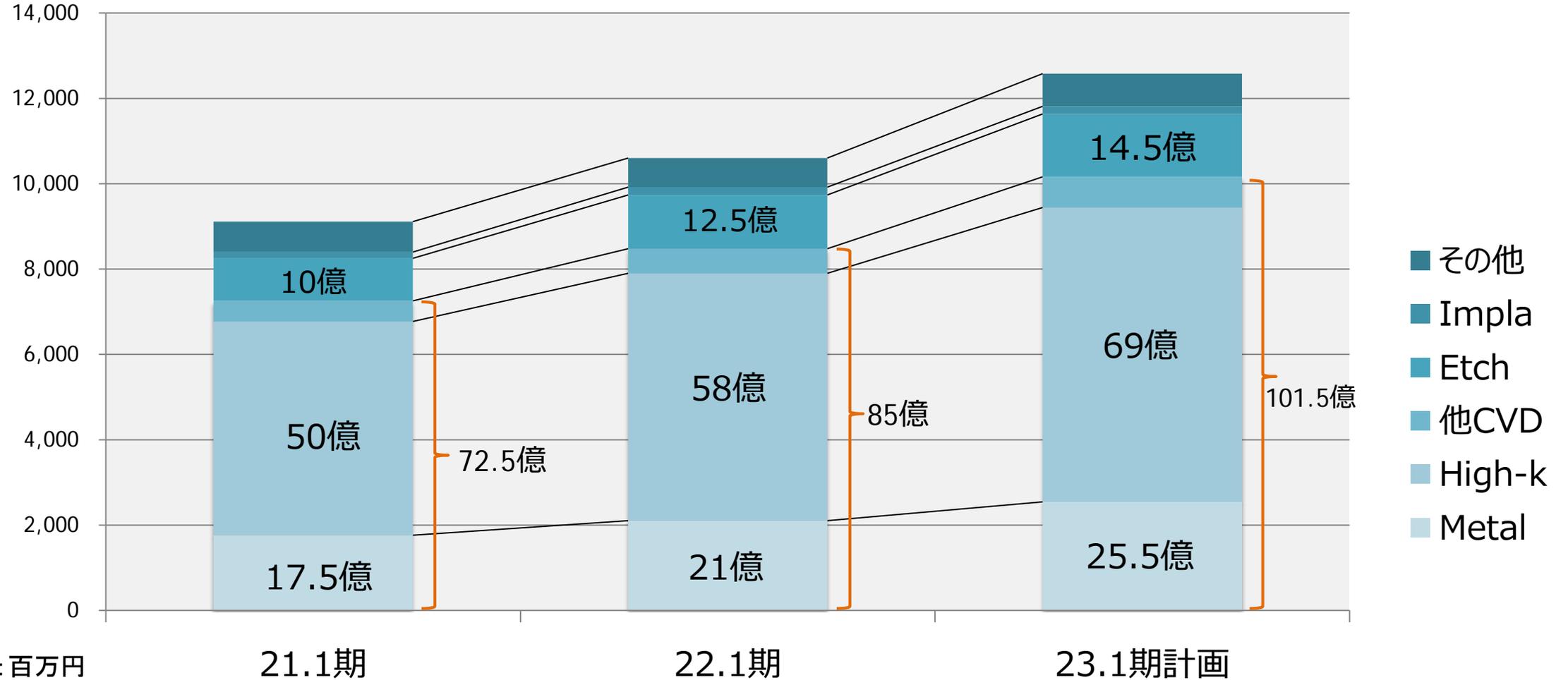




各国の先端半導体メーカーの稼働は好調をキープ

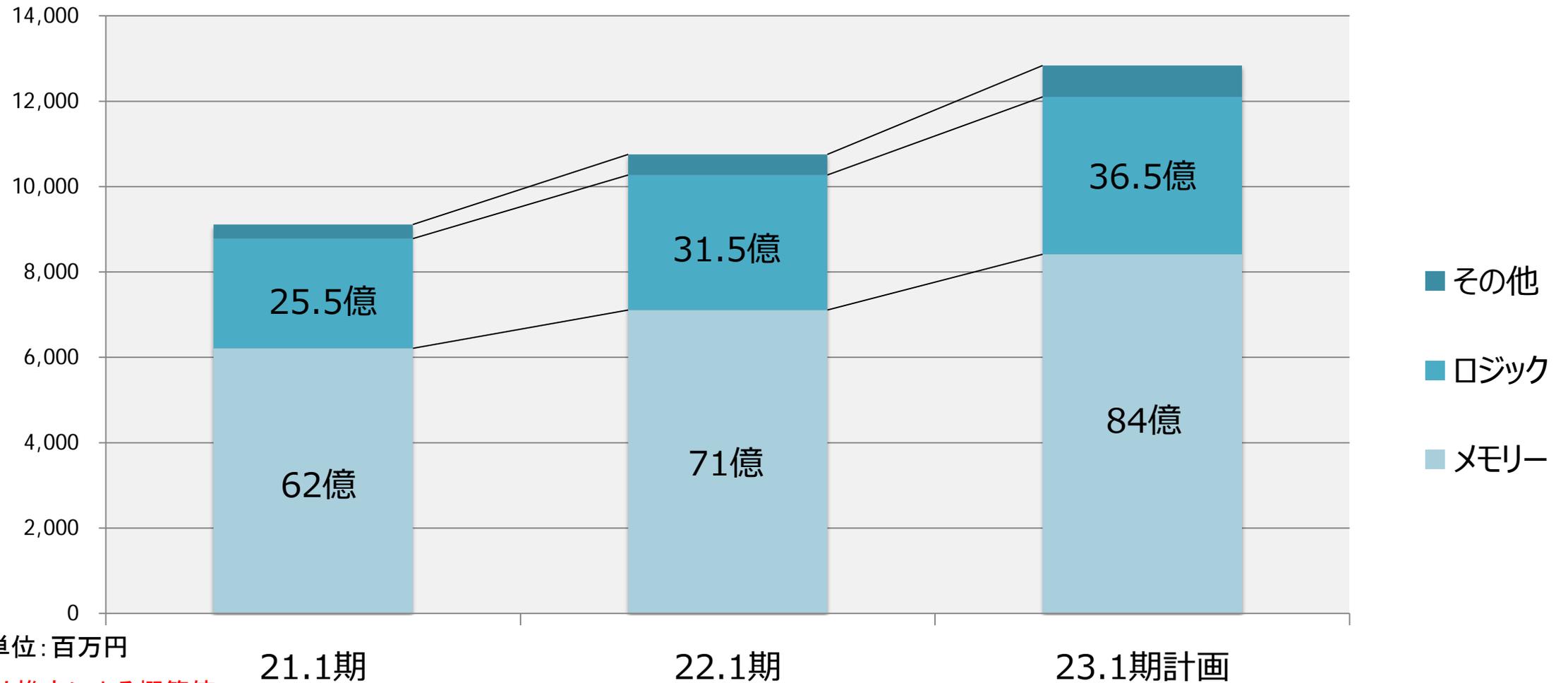


メインの半導体向け材料の成長継続

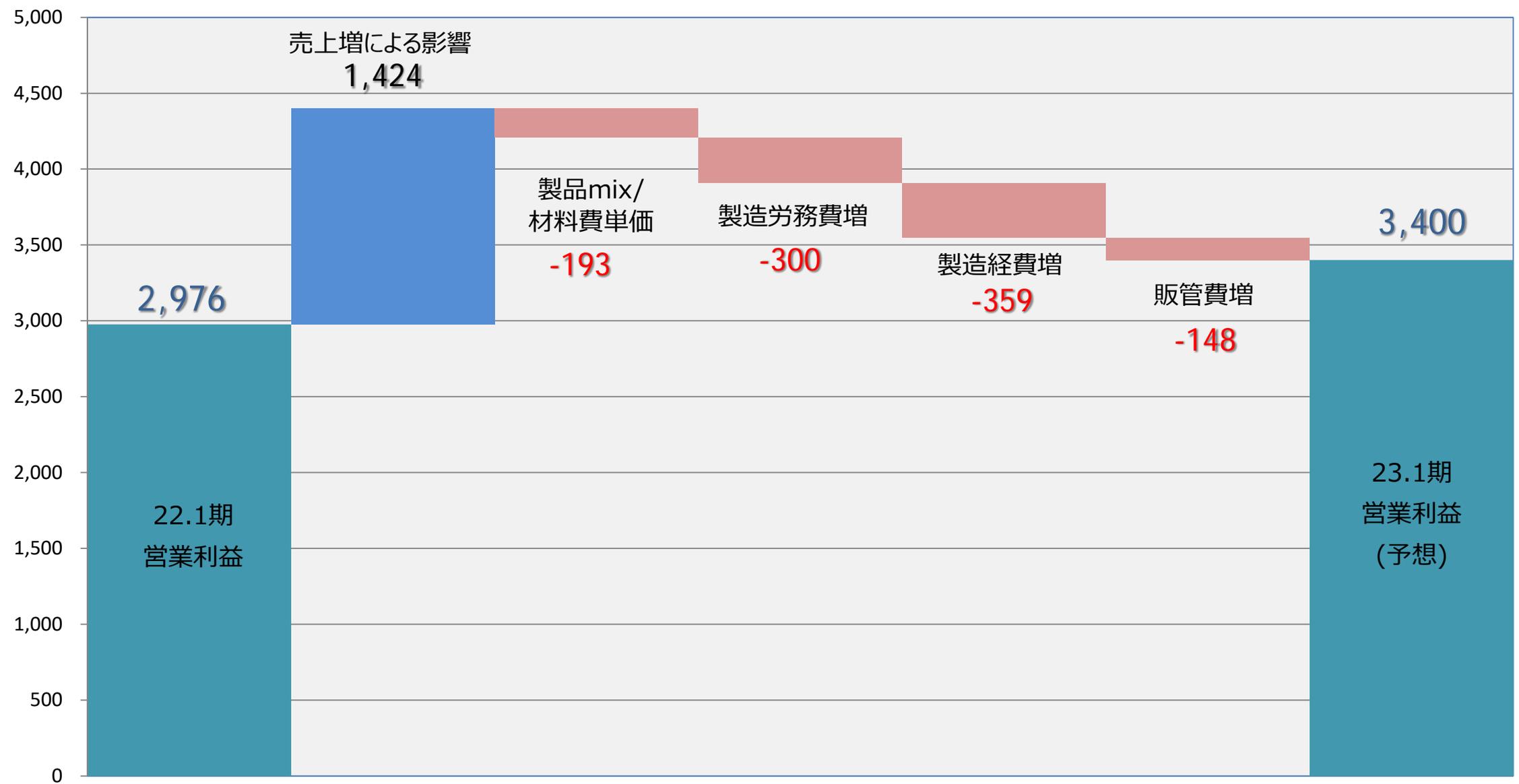


単位:百万円
 ※当社推定による概算値

High-k・Metal材料に加えエッチング材料も堅調



メモリー向け・ロジック向けともに成長



※研究開発費振替前

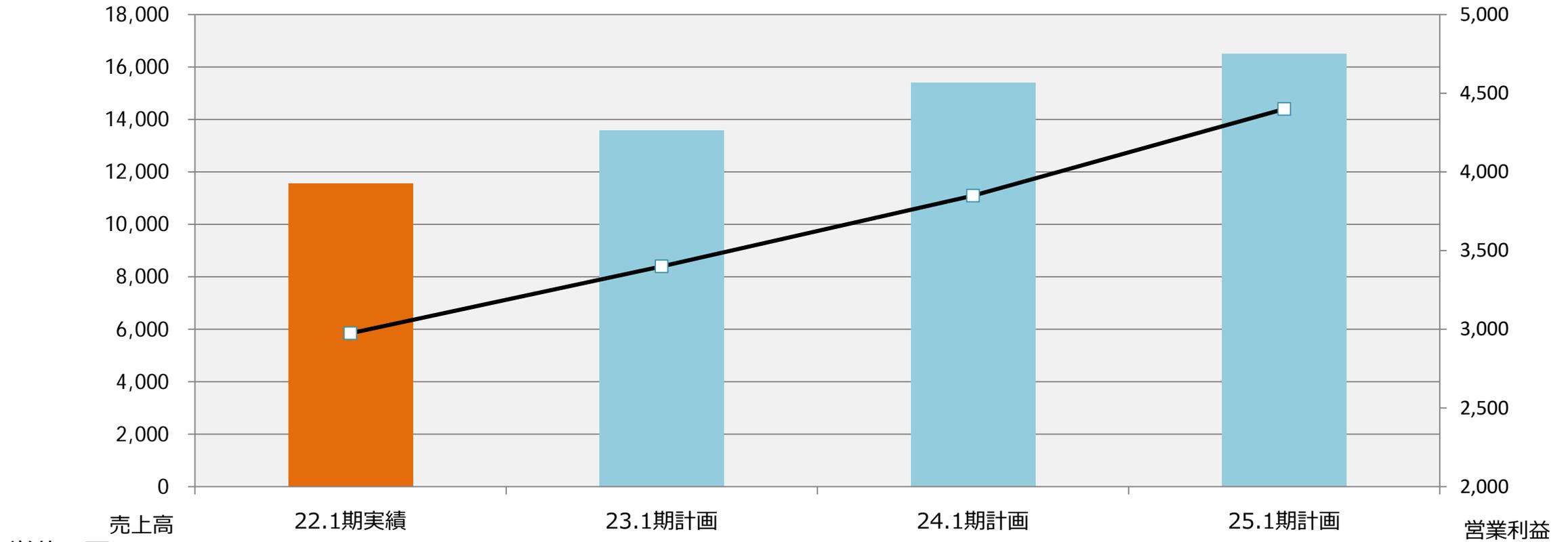
3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 前中期計画を利益面で2年前倒しで達成
2. 為替は1米ドル = 110円に設定
3. 現時点で予測される購入・販売価格の変動は織り込み済み
ウクライナ情勢・国際物流遅延等により、原料価格等に影響が出る可能性あり
4. 台湾子会社工場増築、新工場建設を見越した労務費・経費増加傾向は継続
5. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	23.1期	24.1期	25.1期	3期合計
投資総額	2,958	2,201	1,950	7,109
償却費総額	1,252	1,427	1,511	—

6. 増員計画 2~30名/毎期の増員
7. 持分法損益 3年ともに約2,200百万円/年を持分法利益として見込む



	22.1期実績	23.1期計画	24.1期計画	25.1期計画
売上高	11,574	13,600	15,400	16,500
営業利益	2,976	3,400	3,850	4,400
經常利益	5,294	5,730	6,170	6,740
当期純利益	4,095	4,500	4,800	5,170

	22.1期実績	23.1期計画	24.1期計画	25.1期計画
売上高	11,574	13,600	15,400	16,500
営業利益	2,976	3,400	3,850	4,400
売上高増加額	—	2,025	1,800	1,100
売上高 営業利益率	25.7%	25.0%	25.0%	26.7%

営業利益25%程度の維持を目標

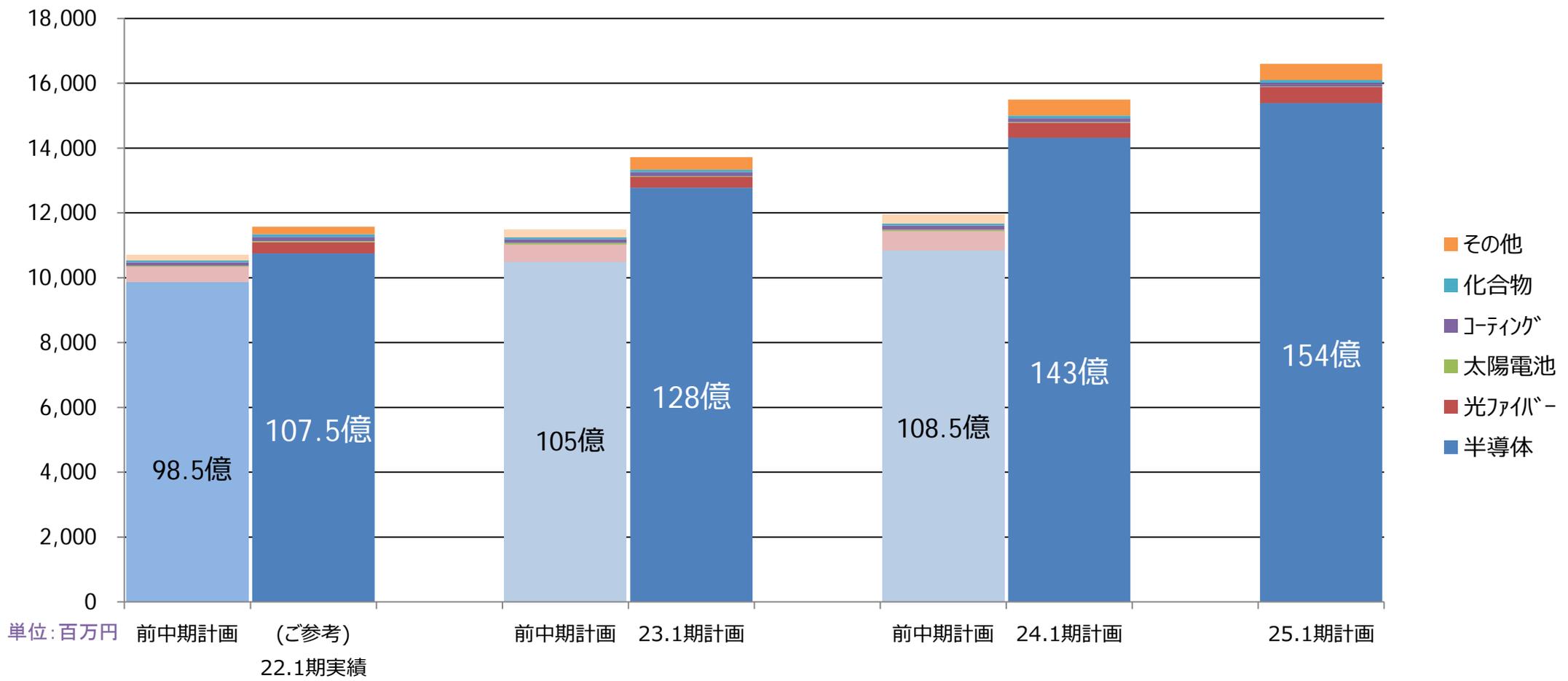
外部環境

- 先端半導体の需要は高いレベルで推移
- 半導体メーカーの能力増強も継続の見通し
- 半導体微細化・高性能化により材料、プロセスは進化
→次世代半導体に向けた新材料ニーズ・高性能化の需要は継続

当社の取り組み

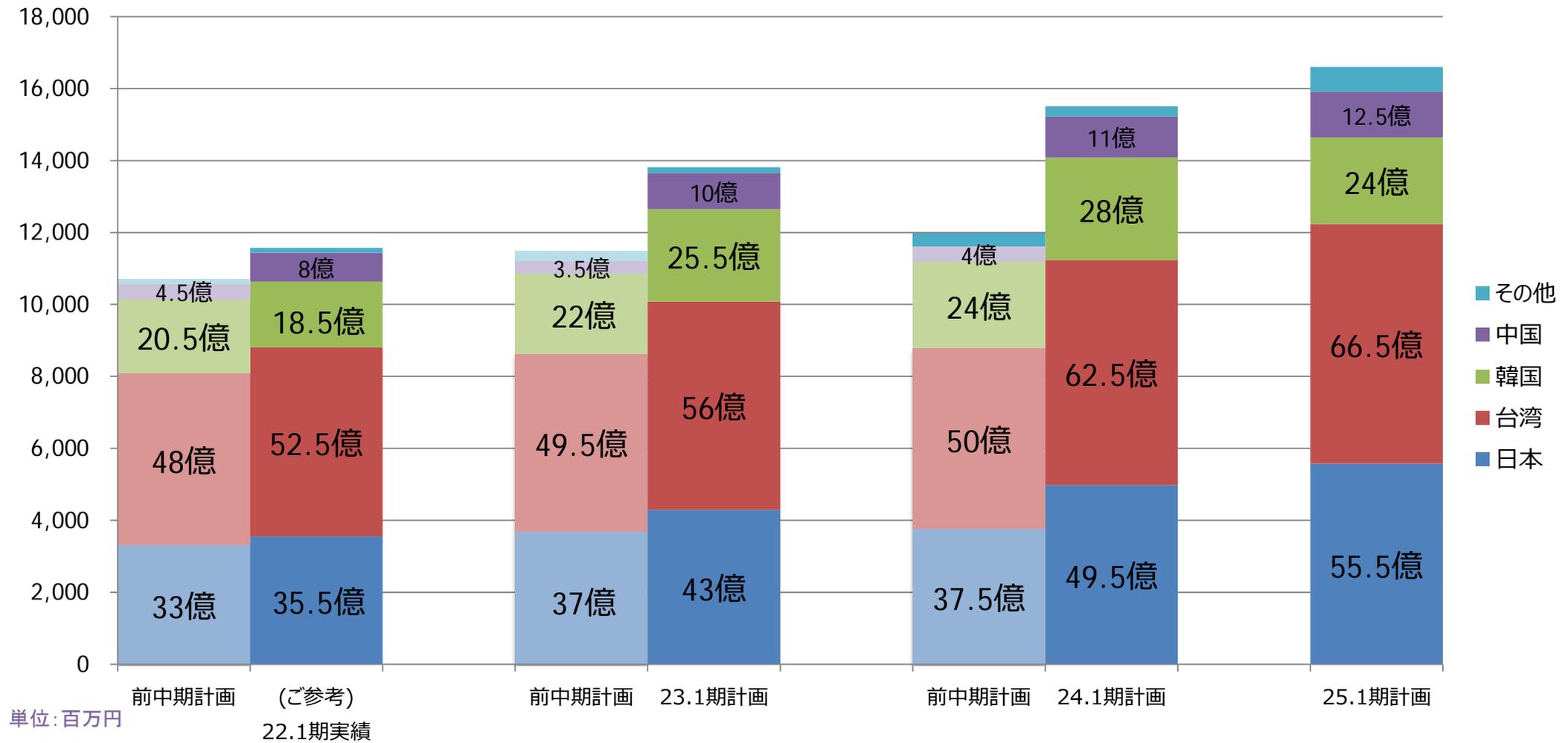
- グループにおける生産・開発能力向上を継続
 - ・次世代新規材料の量産も見据えた体制作り(自動化や新工場の検討)
 - ・台湾子会社工場の早期事業化、能力強化に向けた投資継続
 - ・安全・品質・コスト管理体制の向上
 - ・拠点の増加に伴う事業継続計画の改善・サステナビリティ活動の追求

中期販売計画(製品用途別)※前中期計画との比較含む



半導体向けは成長に加え微細化に伴う新規材料も

中期販売計画(地域別)※前中期計画との比較含む



日本・台湾向けの大幅成長を目論む

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。

あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 : homepageinfo2@trichemical.com